

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

### ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

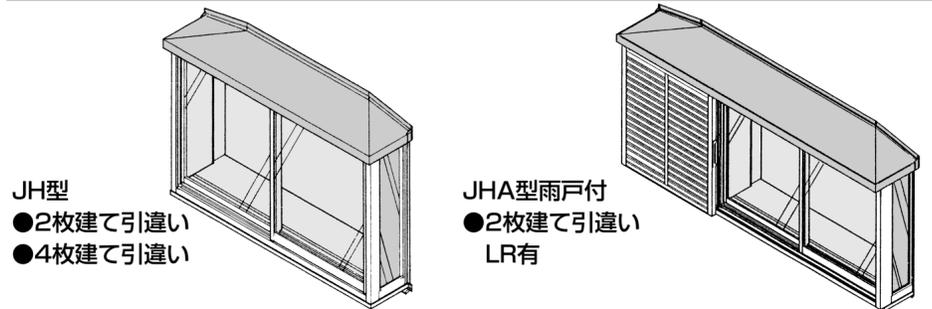
### ▲注意

- 下記項目は、出窓の前倒れ等により障子が脱落する原因になりますのでご注意ください。
- 必ず45×90mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ455mm以下)で開口部を作ってください。
- W1917を超える製品には、間柱補強板を必ず使用してください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
- 屋根は必ず奥まで差し込んでください。
- 下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでご注意ください。
- 躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
- 外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
- 屋根用シール材は絶対にはがさないでください。
- 屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
- 外壁は44mm以下に仕上げてください。
- 出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。

### ■施工上のお願い

- 屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態でいき、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠け等の原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。
- ねじ・釘は、台紙の指定個所に合わせて取り付けてください。
- ご注意
  - 外壁仕上げ後は、地袋(地袋底板)・底板は取り付けられません。
  - 出窓内部は木製の部分がありますので、雨にあてないようにしてください。
  - PG障子で12mmを超えるガラスを使用する場合、補強ブラケット(別途有償品)を1セット追加してください。

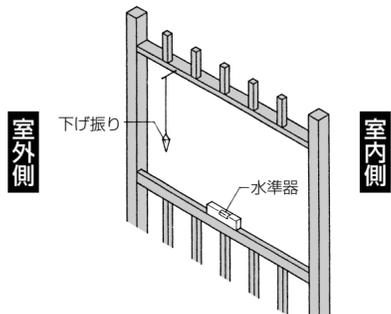
### ■取付け完成図



### ■取付け順序

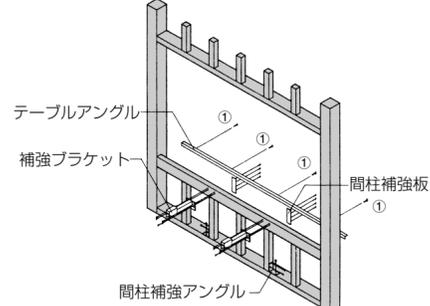
#### 1 開口部の作成

- 水平垂直を確認します。
- ※特に室外側窓台・柱・間柱・まぐさ面を面一にしてください。
- ※窓台・間柱は、柱等に確実に固定してください。



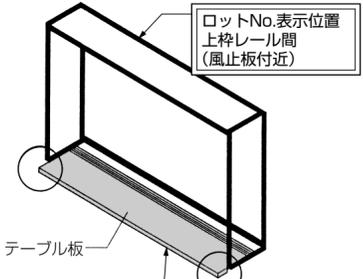
#### 2 テーブルアングル・補強ブラケットセットの取付け

※地袋を取り付ける場合は、必要ありません。

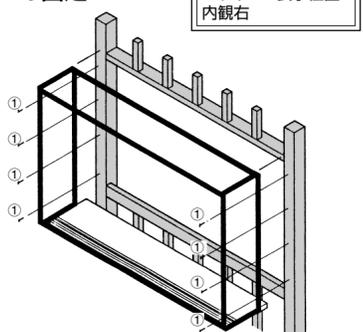


#### 3 柱・テーブル板の切欠き

- テーブル板を柱内法寸法に合わせて切り欠きます。



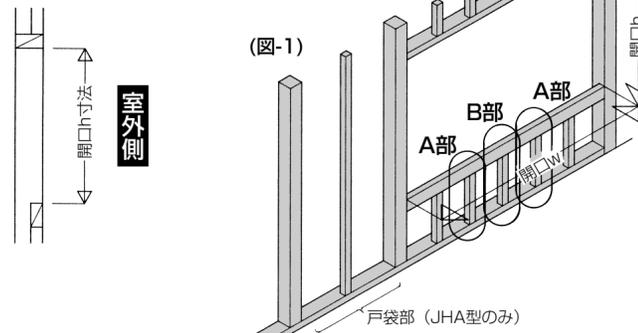
#### 4 躯体への固定



### ■取付け詳細

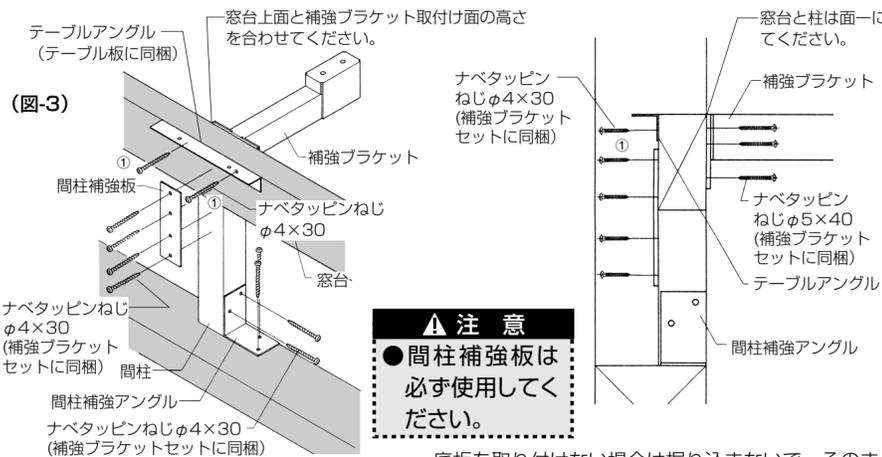
#### 1 開口部の作成

- ※本製品は、3.5寸柱及び4寸柱に対応できるようになっています。
- ※テーブル板は、3.5寸柱、4寸柱用の2種類があり、それぞれ地袋用と地袋無し用があります。
- 窓台は45×90以上の角材を縦方向で使用してください。
- 柱とまぐさは、室外側を面一にしてください。



### ▲注意

- 必ず45×90mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ455mm以下)で開口部を作ってください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。

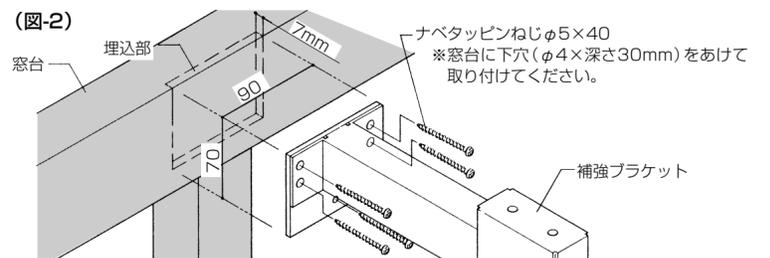


### ▲注意

- 間柱補強板は必ず使用してください。
- 底板を取り付けない場合は掘り込まないで、そのまま補強ブラケットを取り付けてください。

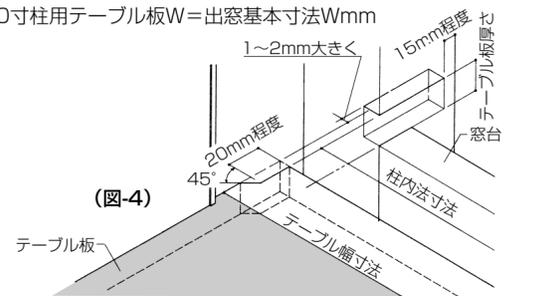
#### 2 テーブルアングル・補強ブラケットセット(補強ブラケット・間柱補強板・間柱補強アングル)の取付け(W1917を超える場合のみ)

- ①補強ブラケットを取り付けます。
  - ②テーブルアングルを取り付けます。(図-3)
  - ③間柱補強板及び間柱補強アングルを取り付けます。(図-3)
- 補強ブラケットセットは、W1917を超える場合は、(図-1)のA部(2か所)に取り付けます。(計2セット同梱されています。)
  - PG障子でガラス厚が12mmを超える時は、A部に加えて中央B部に1セット取り付けます。
  - ※W1917を超える場合は、3セット、W1917以下は1セット使用します。



#### 3 柱・テーブル板の切欠き

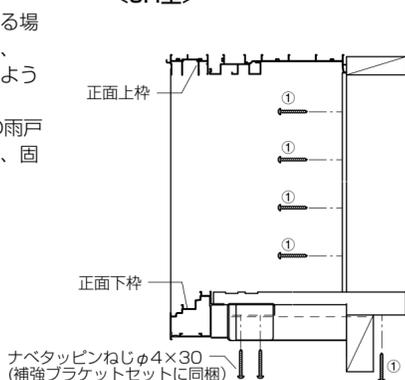
- 柱は、テーブル板幅+左右各1~2mm大きく切り欠きます。テーブル板は、柱内法寸法に合わせてコーナー部を切り欠きます。(図-4)
- ※メラミン製テーブル板の場合、デコラノコ又は、チップソーで加工してください。
- ・3.5寸柱用テーブル板W=出窓基本寸法W+12mm
- ・4.0寸柱用テーブル板W=出窓基本寸法Wmm



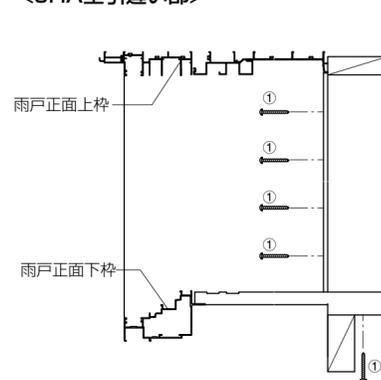
#### 4 躯体への固定

- 補強ブラケットを使用する場合、躯体に取り付ける際、テーブル板を傷つけないようぶつけないでください。
- JHA型の場合、戸袋部の雨戸下枠の水平を確認した後、固定してください。

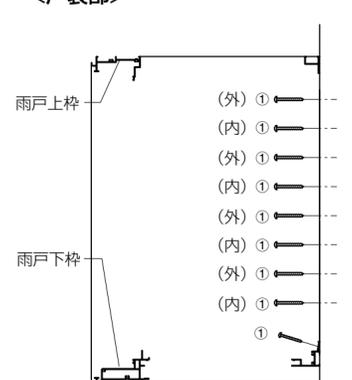
#### <JH型>



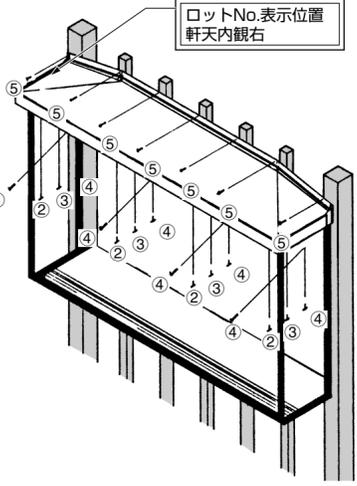
#### <JHA型引違い部>



#### <戸袋部>

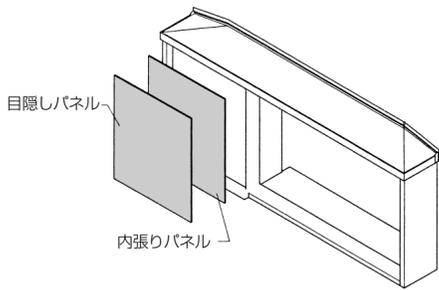


**5 屋根の取付けと屋根鴨居の固定**



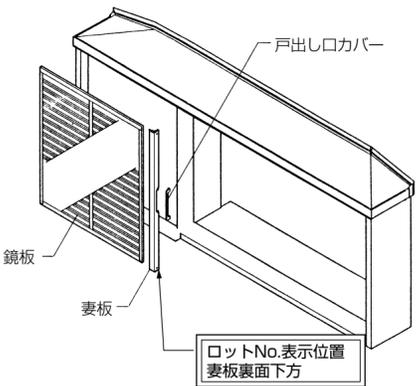
<JHA型の場合>

**6 内張りパネル・目隠しパネルの取付け**



**7 鏡板の差込み**

**8 妻板の取付けと鏡板の固定**

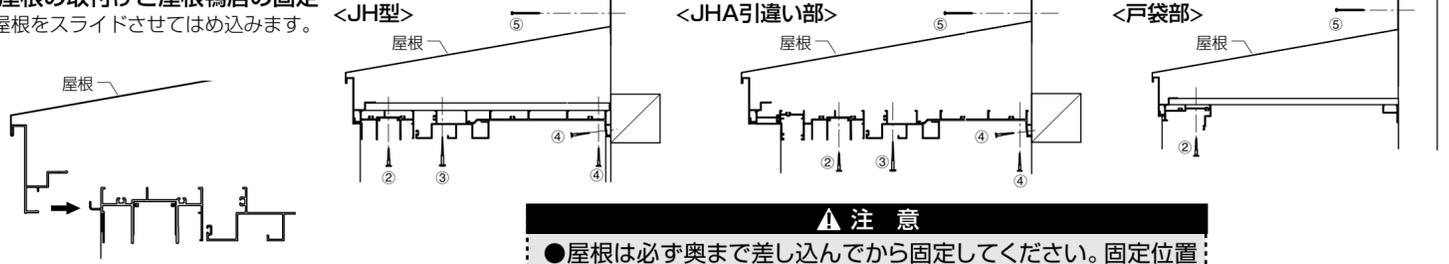


**9 雨戸の建付け調整**

**10 雨戸外れ止めの調整**

**5 屋根の取付けと屋根鴨居の固定**

●屋根をスライドさせてはめ込みます。



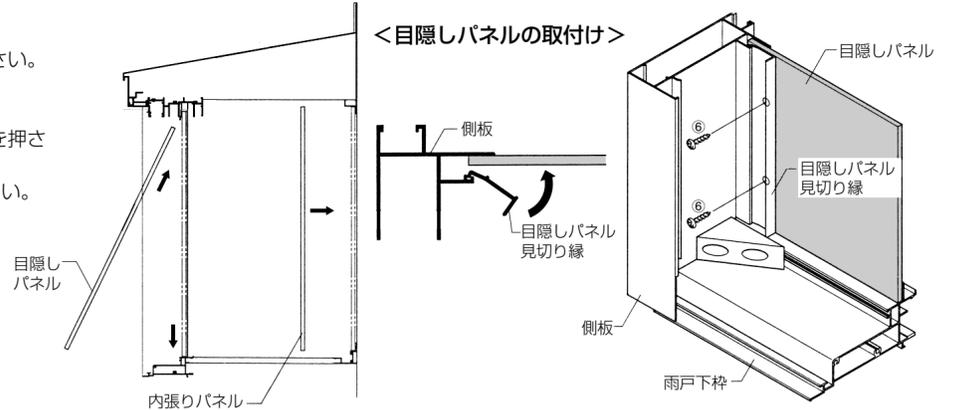
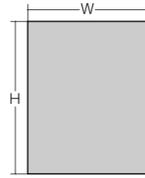
**注意**

●屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

<JHA型の場合>

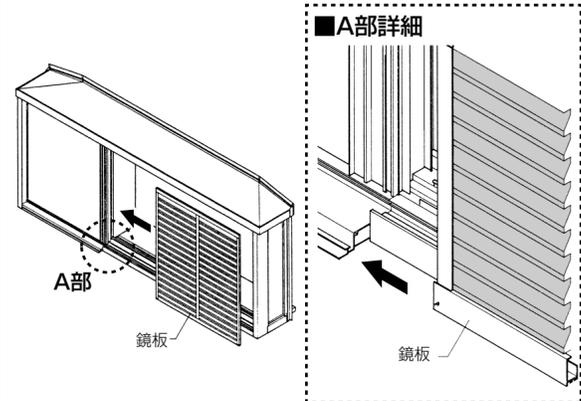
**6 内張りパネル・目隠しパネルの取付け**

- 1.内張りパネルを下記寸法表により切断し、取り付けます。  
※防火処理をする場合は、内張りパネルを不燃材にしてください。
  - 2.目隠しパネルを下記寸法表により切断し、取り付けます。  
①けんどんで目隠しパネルを建て込みます。  
②見切り縁を右詳細図の要領ではめ込みます。次に見切り縁を押さえながらねじで固定します。
- ※目隠しパネルは、必ず5.5mm耐水ベニヤを使用してください。  
・目隠しパネルH=出窓基準寸法H+4mm  
・目隠しパネルW=戸袋W-55mm



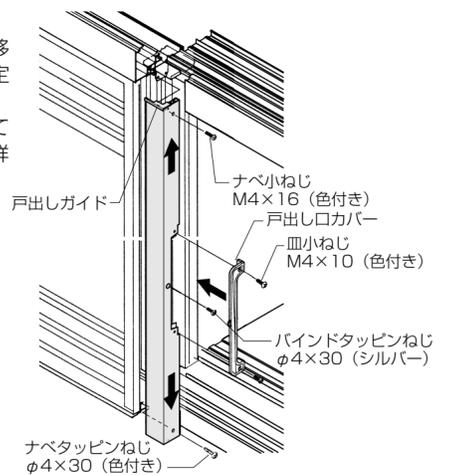
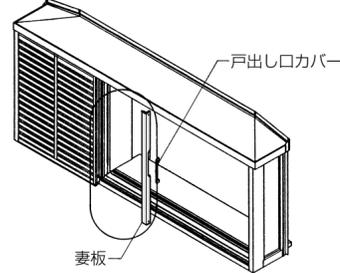
**7 鏡板の差込み**

●鏡板を横から差込みます。



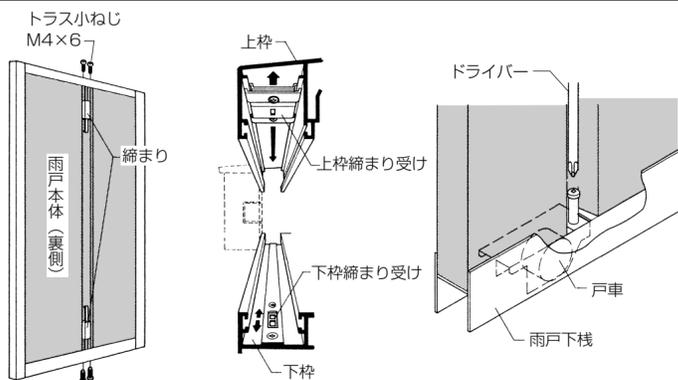
**8 妻板の取付けと鏡板の固定**

- 1.妻板を戸袋に当て、戸出しガイドを矢印方向に移動します。次に妻板と雨戸上・下枠をねじで固定します。  
※ねじは戸出しロカバ一部分セットの中に同梱してあります。それぞれの長さが異なりますので、詳細図でねじの種類・長さを確認してください。
- 2.戸出しロカバを取り付けます。



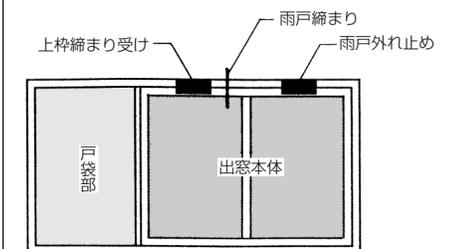
**9 雨戸の建付け調整**

- 締まりを取り付けた雨戸を枠に建て込み、戸車で調整します。  
**<締まり受けの調整順序>**
- 上枠締まり受け  
締まり受け側面に締まりのロッド位置がくるようにねじをゆるめ、調整した後、固定します。
  - 下枠締まり受け  
締まり受け穴に締まりのロッド位置がくるようにねじをゆるめ、調整した後、固定します。



**10 雨戸外れ止めの調整**

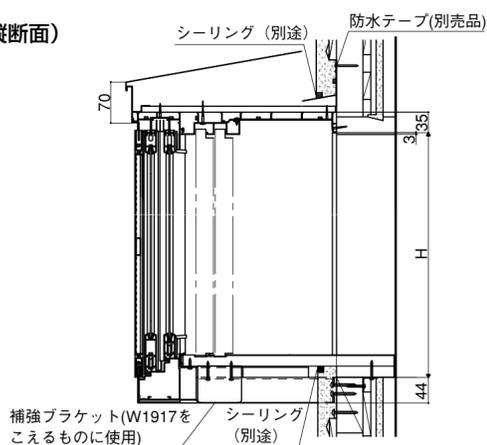
●雨戸外れ止めは、下図の位置になるようにねじをゆるめ、調整した後、固定します。



**参考納まり図**

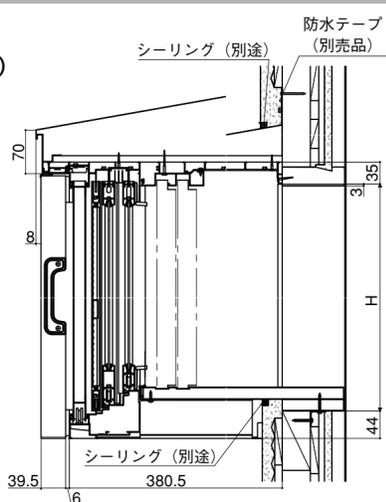
・JH型

(縦断面)

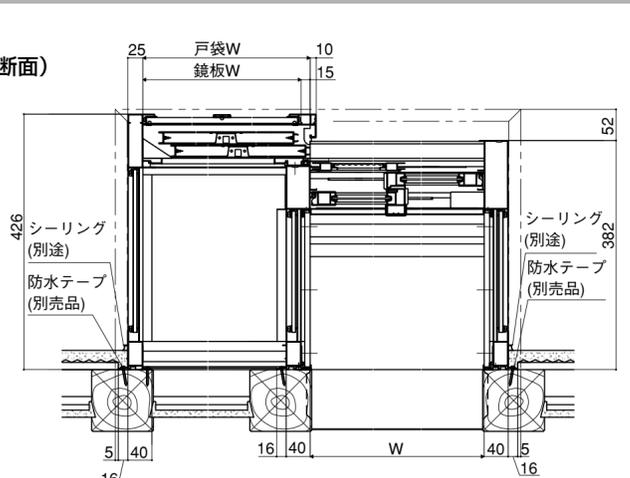


・JHA型

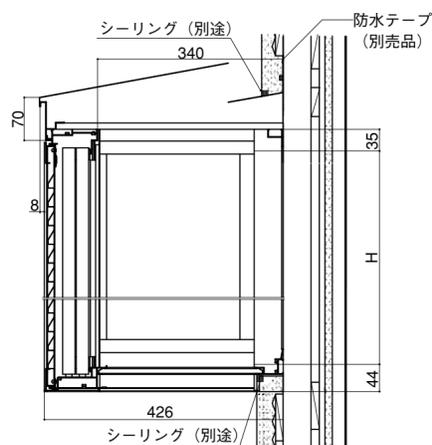
(引違い部縦断面)



(横断面)



(戸袋部縦断面)



(横断面)

